

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：ふくじゅ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：高橋 裕子	定員（利用人数）：126名
所在地：〒212-0058 川崎市幸区鹿島田1-21-8	
TEL：044-201-8080	ホームページ： <a href="https://www.choujyu-f.jp/fukujyu.html">https://www.choujyu-f.jp/fukujyu.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2011年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 長寿福祉会	
職員数	常勤職員：27名 非常勤職員：4名
専門職員	（専門職の名称）：名
	保育士：28名 管理栄養士：4名
	栄養士：1名
施設・設備 の概要	（居室数）
	保育室6室
	子育て支援センター1室
	事務室・医務室1室
	調理室1室
	ホール1室
	園庭

## ③理念・基本方針

## &lt;法人理念&gt;

『縁』（えにし）

子ども、地域、未来、であい

保育に係わりであった、子ども、地域、未来を周りから見守り、支えていくことを大切にしていきたいと思います

## &lt;ふくじゅ保育園 理念&gt;

- ・子ども一人ひとりを大切にし未来に生きる力を育てる保育
- ・安心できる環境の中で保護者から信頼され地域に愛される保育

## &lt;保育方針&gt;

1. 子どもの最善の利益を尊重する
2. 健康的な生活環境を提供する
3. 基本的な生活環境を体得する
4. 協同、協力により信頼関係を築く
5. 自然と触れ合い心身を豊かにする
6. 体験を通じて感性を養う

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

##### <ふくじゅ保育園の特徴的な取り組み>

- ・ 保育所保育指針を共通の基盤とし、評価、研修等、様々な取り組みをし、職員間で理解を共有し、一貫性を持って保育を行っています。
- ・ 保育者が互いを尊重し、保育を見合い、多面的、多角的な検討をし、保育の質を高めています。
- ・ 一人ひとりがリーダーシップをとれる場があり、多様な視点を得る開かれた取り組みを行っています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年04月07日（契約日） ～ 2021年03月04日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1 回（2014年度）

#### ⑥総評

##### 【施設・事業所の概要】

●ふくじゅ保育園は社会福祉法人長寿福祉会（以下、法人という）の運営です。法人は、川崎市中原区に2園（長寿保育園、井田保育園）、川崎市麻生区に1園（あさのみ保育園）、そして川崎市幸区鹿島田にふくじゅ保育園があり、計4つの保育園を運営しています。全園は十分な敷地を有し、周囲には自然が残る立地に位置しています。法人の保育活動理念に「子どもたちの今と未来を守る保育」、「自然を愛し五感を育む保育」、「地域とつながり育ち合う保育」を掲げ、日々の保育に実践して取り組んでいます。

●ふくじゅ保育園では、「地域とつながり育ち合う保育」について、法人理念である『縁』（えにし）を大切にし、子ども、職員、保護者、地域の方々がこの「ふくじゅ保育園」に集い、保育に関わり、出会った子ども、地域、未来を周りから見守り支えていくことを大事にして考え、丁寧に保育に当たっています。担任以外の職員も子ども一人ひとりに対応した保育が行えるよう、クラス会議や職員会議、ミーティングの場を大切にし、気になる子どもも含め、密に情報交換を図り、全職員で全園児を見守る保育に向けて尽力しています。

●法人では、「あいうべ体操」を推進しています。「あいうべ体操」は医師が考案し、舌や口周りの筋肉を鍛えることにより、口呼吸の改善につながり、自然治癒力を高め、簡単な口の体操でアレルギー性疾患等にも症状が改善する体操として推進を図っています。法人では系列全園でこの体操を実施しています。「あいうべ体操」は法人でムービーを制作し、法人系列の長寿保育園の園長が作詞・作曲し、職員が手作りで制作したかわいい絵・動画と、園児たちの元気いっぱいの歌声で、子どもたちの表情まで伝わってくるような楽しいムービーとなっており、ふくじゅ保育園のホームページにも掲載し、家庭、地域へ発信して啓蒙しています。

##### ◇特に評価の高い点

##### 1. 【子どもたちの『今』と『未来』に向けた保育】

●ふくじゅ保育園は、理念に沿い、戸外遊びを奨励して五感を育み、子どもの健やかな成長を支援しています。日々、たくさん遊んで体を動かし、自然の中から四季折々の草花の彩りや香り、草や土の手触り、鳥や虫の鳴き声、川の流れる音等と触れ合いながら、五感の刺激を大切にした保育に力を入れています。子どもたちは自然に豊かな感性を育み、美しいものを美しいと感じることができる人へと成長するでしょう。また、薄着保育を

推進し、健康な体作りを促進し、「あいうべ体操」の口の体操によりアレルギー性疾患等の症状の緩和を目指す等、ふくじゅ保育園は、子どもの将来に向けて健康増進、感性を育み、「今」を豊かな「未来」につなげるよう取り組んでいます。

## 2. 【園庭の豊かな自然から育む保育】

●ふくじゅ保育園の園庭には四季折々の豊かな樹木が植栽されています。園庭には畑もあり、実のなる木が沢山あります。素晴らしいのはこの園のクラス名（0歳児：いちご、1歳児：みかん、2歳児：もも、3歳児：ぶどう、4歳児：ゆず、5歳児：うめ）の樹木が実際に「クラスの木」としてある点です。そして、子どもたちは自然から色々な気づきや感動を味わいます。0歳児（いちご）は、木ではなく畑にあり、0歳児の小さな手でいちご摘みをします。1歳児（みかん）はミカン狩り・2歳児（もも）はもも狩りを遊びに取り入れ、3歳児（ぶどう）は、いつ頃収穫できるのか自分のクラスの木を気にして保育士に聞く等、植物の成長・季節を知る良い機会となっています。4歳児（ゆず）はアゲハ蝶の幼虫がゆずの葉を食べているのを発見し、「ゆずを守る」べく幼虫を捕獲しますが、その幼虫はクラスで飼育し、子どもたちは幼虫からさなぎ、やがて成虫になる変化を観察し、最後はアゲハ蝶を外へ逃がしてあげる等、命の大切さも学びます。5歳児（うめ）は収穫後にジュースやジャム作りを楽しみ、自然と生活とのつながりや、季節のめぐりを知り、自然の変化を園庭の木々から学び、味わっています。正しく、自然に親しんだ保育園生活と言えると思います。

## 3. 【地域とつながり育ち合う保育】

●「地域とつながり育ち合う保育」では、ふくじゅ保育園の最も大切にする『縁』（えにし）を根幹に取り組んでいます。法人の理念である「縁（えにし）」を重んじ、ふくじゅ保育園の保育方針に、「一人ひとりの子どもの気持ちに寄り添い、やさしい言葉かけを行い、共感することを大切にしています」を掲げ、保育目標に「心身ともに健康な子」、「豊かな感性をもてる子」、「十分に遊び込める子」とし、良く食べ、良く遊び、良く眠ることを大切に保育に当たっています。法人名の『長寿』に沿い、心身ともに健康であることを重要に捉え、“元気いっぱいにも心も身体も育まれる”保育に尽力しています。また、厨房に管理栄養士・栄養士、調理師を配置し、園独自で食事の提供を行い、五感の1つである食育を重視して、「縁（えにし）」を大切にしたい子どもの育成に力を入れて取り組んでいます。

### ◇改善を求められる点

#### 1. 【「こども家庭センター」のさらなる活用について】

●ふくじゅ保育園の隣には「こども家庭センター」（中央児童相談所）があり、相互に連携を図っています。こども家庭センターに寄せられた近隣からの苦情について相談を受けた際は、解決に向けて助言を行い、また、搬入業者の紹介等も行っています。児童相談所の特性として、近隣合同での避難訓練の実施等は難しい面もありますが、緊急時にはセンターへの入室も許可されている等、普段から良好な協力・信頼関係が築けている様子が伺えます。児童相談所には様々なノウハウが蓄積されており、こども家庭センターには、児童福祉司や児童心理司、保健師、心理職員、児童精神科医等の多職種が在籍しています。作業療法士、言語聴覚士、理学療法士との連携もあり、保育園にとって有益な知識・技術を得る機会が多々、あると思われます。こども家庭センターに研修の講師を依頼したり等、すでに実施している取り組みもありますが、今後はさらに異職種・多職種との交流を目指し、知見をより深め、多様なケースにも応じられる、幅広い知識を持つ地域の保育園へと展開していかれることを期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名：ふくじゅ保育園

<評価に取り組んだ感想>

「ふくじゅ保育園」の根幹を全職員で話し合い、確認し合う機会になりました。若い職員が多く、「子どもの最善の利益」や保育理念・保育目標等々は理解しながらも、子どもの気持ちに寄り添う・保護者の気持ちに寄り添うことでも日々忙しく、満足していたところでした。

経験年齢に関係なく時間をかけ意見を出し合い、改めて「ふくじゅ保育園」の保育を考える機会になり、職員がさらに資質向上できたと思っています。

自己評価票では職員の専門性・資質向上に向けた取り組みにもなったかと思われます。また、1年に1回の監査以外にも、評価機関を通して「第三者評価」を受審することの意義も全職員で共有できました。

<評価後取り組んだ事として>

改善点について土曜日グループで具体策を提示し、職員会議にて改善策を打ち出し、保育の質の向上、働きやすい職場づくりに努めています。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり